

一般質問

市民クラブ

ストップ・コロナ差別の宣言

問 感染者やその家族、医療従事者等への誹謗中傷や差別的な言動を防ぐため、「ストップ・コロナ差別」を宣言する考えはないか。また、ポスターを作成し、学校や事業所等に掲示することで、コロナ差別防止の機運を高める考えはないか。

答 新型コロナウイルス感染症拡大の中、誤解や偏見に基づく不当な差別やいじめなどが全国的に発生している。本市においては、コロナ禍で頑張っている医療スタッフや感染し不安の中にいる患者などを応援するよう、継続してメッセージを発信しているほか、ホームページに特設ページを設け、啓発や人権に関する相談窓口の情報を掲載している。

今後は、安全安心で優しい長崎市を市民と一緒につく



る努力をしようというメッセージを広めていく手法として、「ストップ・コロナ差別」のような宣言の発出を検討したい。

また、ポスターについても作成し、しっかりと広報していきたい。

BSL-4施設の建設計画の見直し

問 住宅密集地にBSL-4施設を建設する計画は見直すべきではないか。

答 長崎大学では、医学部キャンパス内に施設を建設するに当たり、世界最高水準の安全性の実現を図るため、建築・環境・危機管理等の日本でも最高の見識を有する専門家の意見をいただき、事故や災害等が発生しないための対策を取りながら建設を進めている。また、住民の不安や心配な声に寄り添い、相互理解を深めるために、継続的なコミュニケーションをこれまで以上に図っていくこととしている。

建設場所については、長崎大学病院との連携により感染症研究や人材育成の成果を最大かつ迅速に上げることが期待できることから、一定の合理性があると考えており、本市としても、市民の理解と安全性の確保に向けた長崎大学の取組をしっかりと確認するとともに、国に対しても積極的な関与を要請するなど、引き続き側面的な支援を行っていく。

自民創生

感染症研究機関等の誘致

問 令和3年3月に閉校予定の江平中学校跡地は、長崎大学熱帯医学研究所や、建設が進められているBSL-4実験棟、隣接して建設が計画されている研究棟に近接する好立地条件を備えているため、創薬など関連する民間企業等の誘致を行う考えはないか。

答 感染症研究をはじめとする医療分野での長崎大学の優れた実績は、新たな産業の創出や企業誘致を行うに当たっての強みの一つであると考えている。

本市では、県や長崎県産業振興財団と連携し、この強みを生かした医工連携分野での企業誘致を行ってきた結果、今年5月に国内有数の医療機器メーカーの研究開発拠点が開設された。

今後ともその強みを生かし、関連企業の誘致や新たな産業の創出に一層取り組むとともに、研究機関等の誘致についても、江平中学校の跡地活用の可能性も含め、大学と意見交換しながら検討していく。

歴史的建造物の保存活動における市民等との協働

問 市民等との協働で保存する仕組み

づくりが必要であると考えているが、市の見解を伺いたい。

答 本市は今年3月に国から歴史的風致維持向上計画の認定を受け、重点区域に指定した東山手・南山手地区において地域住民等が主体となった協議会を設け、歴史まちづくり計画の策定に取りかかっている。この試みは、その地区にある歴史的建造物の価値を市民と行政が共有し、まちづくりに生かす計画づくりの中心に市民がいるというもので、市民と行政の新しい協働の在り方になると考えており、他の地区の歴史的建造物の保全にも応用し広げていきたい。

また、歴史的建造物の所有者の動向をいち早くつかみ、その保全や利活用に関心のある市民を見いだすことが重要であるため、今後は経済団体や民間団体等との連携を強化し、必要な情報を広範囲かつ的確で迅速に発信・収集できる仕組みづくりに取り組んでいきたい。



▲東山手の町並み

歴史的風致…地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地環境